



発行所
関西配管工業協同組合
〒531-0072
大阪市北区豊崎3-20-9
三栄ビル6階

TEL(06)6371-5905 FAX(06)6371-9544

編集者
事業部・教育情報部
HP:<https://www.kankan-club.or.jp/>
E-mail:jimu@kankan-club.or.jp

関西配管工業協同組合機関誌

もくじ

- [新春を迎えて] 庄司真之理事長 2
- 新年賀詞交歓会開催 3
- 第25回技術研修実施 5
- 1級配管技能士の受検対策講習実施 6
- 組合員・賛助会員合同懇談会開催 8
- 組合が職能開発協会から感謝状 9
- サロン(株)ツカサがラジオ体操優良団体表彰) 9
- 理事会 議事要旨 10
- 新組合員紹介 11
- 大阪管材総合展 出展者募集開始 11
- 日管連全国青年部 広島で合同部会開催 12
- 「配管コンテスト」(株)ツカサの前田さん3位入賞 14
- 技能五輪全国大会開催 14
- ニュースファイル 15
- 中退協案内 16

新春を迎えて

「万博」とともに建設業界盛り上げよう



関西配管工事業協同組合
理事長 庄司 真之

当組合は、設立以来「技能の伝承と若手技能工の育成・教育」を主目標に活動が続けて参りましたが、これからも引き続き「若手技能工の育成・教育」を柱に活動が続ける所存です。皆様方の更なるご指導、ご協力をお願いいたします。

2024年は地震で明けた一年でした。1月1日16時10分、能登半島地震が起きました。石川県能登地方をM7.6の地震が襲いました。多数の死者、行方不明者を出し、全壊家屋6437棟と多大な被害が出ました。未だに、避難生活を送っておられる方がたくさんいらっしゃいます。

そのような中、更に追い打ちをかけるように9月21日から23日にかけて能登半島豪雨災害が発生し、15の方が亡くられました。能登地方の方々には、掛ける言葉もございません。

このような非常事態の時こそ政治の力が必要です。政府の強力な支援・施策によって一日も早く復興されることをお祈り申し上げます。

また一方、世界ではロシアのウクライナへの軍事進攻やイスラエルのパレスチナへの軍事進攻等の戦争が実際に起こっております。私達の日本におきましても戦争と言う言葉が絵空事ではないような状況にもなっており、非常に心配です。

その影響から、多くの生活必需品の値上がりが続き、私達の日常生活を圧迫しております。人間とはつくづく愚かな生き物だと思います。平和はそこに存在するものではなく、人間が知恵を出し合い全力で作りに上げていくもの、守っていくものです。今こそ自分自身の命を守るために、生活を守るために、どう行動すべきなのか真剣に考える時だと思います。

暗い話題が多かった昨年ですが、大谷選手のメ

ジャーリーグでの大活躍は我々日本人に誇りと喜びをもたらしてくれました。「ひたむきに努力する」と言う、日本人が忘れかけていたことを思い出させてくれました。本当に素晴らしい活躍でした。

そして今年は、いよいよ大阪の夢洲で「2025年大阪・関西万博」が4月13日から10月13日まで開催されます。大阪がスポットライトを浴びる年です。「大阪・関西万博」に関しましては、様々な問題が言われてきましたが、大阪の建設業界におきましては、万博が牽引役となり仕事量の大幅な増加につながったのは紛れもない事実です。「大阪人」皆で力を合わせて万博を成功させましょう。

今年は、親団体である日本配管工事業団体連合会の総会が7月18日(金)に大阪で開催されます。私共、関西配管工事業協同組合が幹事団体となり開催します。全国の仲間が「大阪・関西万博」の見学を楽しみに、大阪に集まります。充分なおもてなしをしたいと考えております。

現在の建設業界最大の課題は職人不足です。特に若手の職人が不足しています。万博を見学した若者が建築に興味を持ち、一人でも多く建設業界に入職してくれればと思っております。

若い人が「夢と希望」を持って働ける配管業界に変えること、親御さんが自分の子供を働かせたいと思う業界にすることが組合の目標であり、私の変わらぬ目標です。現場で汗する配管工が誇りを持って一生を通して働くことができる、魅力ある業界づくりに邁進いたします。

関係者各位の更なるご指導、ご協力をお願い申し上げます。

新年賀詞交歓会開いて巳年スタート



1月23日、大阪市北区のホテルモントレ大阪で新年賀詞交歓会を開催し、82名が参加して新年の門出を祝いました。

年頭挨拶に立った庄司真之理事長は、日頃の組合活動への協力と交歓会参集への謝辞を述べるとともに、能登半島地震、羽田空港での旅客機と海上保安庁の航空機衝突事故に触れ、犠牲者に哀悼の意を表し「震災の一日も早い復興を祈っている。暗い話題が多い中、オリンピック、パラリンピックでの日本人選手の活躍、大谷選手の世界リーグでの快挙は、われわれ日本人に誇りと喜びを与えてくれた」と昨年を振り返りました。

また、「当組合は設立以来、技能の伝承と若手技能工の育成・教育を柱に活動してきた。中心となる事業は大阪府の認定を受けた認定職業訓練配管科1級技能士コースで、27年間継続して開催している。これまで約700名の受講者が



小阪副理事長の司会で進行

受講、資格を取得してから建設現場で活躍している。昨年12月には大阪府職業能力開発協会から多年にわたる職業訓練の普及推進に顕著な功績があったと認められ、感謝状をいただいた。これを励みに本年も外国人を含めた若手技能工の育成教育に注力する」と引き続き人材確保、育成に取り組む意欲を示しました。

一方、大阪・関西万博についても触れ、「様々な問題を抱えている



年頭の挨拶を述べる庄司理事長

が、大阪がスポットライトを浴びる絶好のチャンスである。建設業界にとっては万博がけん引役となり仕事量が増えたのは事実である。大阪人が力を合わせて万博を必ず成功させてほしい」と期待しました。

来賓からは大阪空気調和衛生工業協会の城口俊雄副会長、竹中工務店大阪本店の小柳真二本店長上席専門役、大林組大阪本店の宮浦晋一統括部長がそれぞれ祝辞を述

べ、大阪府中小企業団体中央会連携支援部連携支援課の塩見和哉課長補佐の発声で乾杯し、和やかに交歓して親睦を深めました。

歓談が繰り広げられる中、新規組合加入者の紹介や賛助会員からのPRが行われたほか、青年部の新企画として昨年の組合活動をス

クリーンで紹介した後、玉川義光副理事長の音頭で大阪締めを行い、今年の飛躍を祈願しました。



来賓挨拶する（左から）城口、小柳、宮浦の各氏



乾杯の発声を行う塩見氏



乾杯で新年を祝う



スクリーンで組合活動紹介



大阪締めで已年の躍進を祈念

第25回技術研修実施

ねじ切り加工とレッキス製品学習



レッキス製品の特徴が詳しく説明された

昨年11月23日に大阪府東大阪市のレッキス工業本社工場で第25回技術研修会を実施し、受講者は1級配管技能士検定に向けた手動ねじ切りの実習やレッキス工業製品の特長と正しいねじ加工法などを学びました。

研修は技能検定に備えて実施する12月の組合主催・受検事前講習（大阪府立北大阪高等職業技術専

門校）の予習を兼ねて手動ねじ切りの実習が行われたほか、レッキス工業による融着工具製品紹介と施工方法、正しいねじ加工の座学・実演が行われました。

受講者は2班に分かれて、技能検定に必須のパイプの手動ねじ切りについてレッキス工業の担当者からレクチャーを受けながら実習に臨みました。また、同工場に隣

接する「レッキスマuseum」でパイプマシンをはじめ各種配管機器の歴史を学びました。

休憩を挟んで同社担当者から、一押し商品のねじ径を調整しないでテーパねじ加工が可能なドロップスレッダRDの紹介があり、ねじ加工の実演では受講者も参加体験しました。

討 報

前監事・岡崎照雄氏逝去

当組合の監事を長年務められた岡崎照雄氏（現監事・岡崎信一岡崎産業社長の御尊父、岡崎産業会長＝創業者・前社長）が1月12日に逝去されました。享年94歳でした。当組合監事のほか、大阪管工機材商業協同組合の副理事長も務められました。

葬儀・告別式は1月25日に大阪市阿倍野区のやすらぎ天空館で社葬をもって営まれました。喪主は長男信一氏。ご冥福をお祈りいたします。



レッキスマuseumでパイプ加工の変遷を学ぶ



手動ねじ切りを実習

1級配管技能士受検対策実技講習実施



組合は12月7、8日の両日、大阪府枚方市の大阪府立北大阪高等職業技術専門校（北大阪ぎせんこう）で令和6年度の1級配管技能士検定へ向けた受検対策実技講習を行いました。

実技講習は検定を想定した本格的な講習で、1級配管技能士の受検予定者23名が出席し、実技講習では作業試験さながらの講習に取り組みました。

初日の午前中では、オリエンテーションに続き「材料の拾い出し・ペーパーテスト」の座学が行



材料取りのペーパーテスト

われ、最後に配管図から材料を拾い出して材料表を作成する練習問題試験が実施されました。

午後からは実技講習に移り、玉川義光副理事長が受検に向けての心構えや実技要綱を説明した後、

指導員が鋼管の手動ねじ切りと銅管溶接の手順を実演し、作業の要点などを説明しました。

引き続き実技講習に移り、指

導員が受講者の間を細かく回って配管作業の指導に当たる中、受講者は切断、溶接、接着、配管組立など作業試験の課題作品作りに懸命に取り組みました。



実技要項の説明



銅管接合の模範実技

技の高み目指す



ねじ切りの模範実技



「人手不足」テーマに情報・意見交換



12月5日、大阪市北区の三栄ビル3階会議室で正組合員29名と賛助会員（流通・メーカー）19名が出席し第15回合同懇談会を開催しました。

挨拶に立った庄司真之理事長は日頃の事業運営に対し感謝の言葉を述べ「関配協では組合設立以来、技能継承と人材育成を柱に活動している。大阪府知事より認可訓練校の認可を受けて1級配管技能士コースを開設しているが、今年も24名の方が無事修了された。今後も地道な努力を継続していきたい。今年4月からは正組合員も7社増え、組合活動の活性化には



挨拶する庄司理事長

心強い存在となっている。皆さんとともに配管業界のさらなる地位向上を目指していきたい」と述べ、一層の協力を求めました。

懇談会では組合員企業が現在抱

える共通の課題として「人材不足」をテーマに取り上げ、八つのグループに分かれてそれぞれの企業が現在実施している取り組みや働き方改革への対応について意見交換を行いました。

「選択できる働き方の可視化」や「有給休暇取得の促進」「休日・夜間工事を取らない」などの意見のほか「求人採用活動に特化したSNSの活用」「工場内作業にゲーム性を取り入れる」「副業を認めて独立を支援する」など正組合員と賛助会員双方の立場から取組事例が発表され、情報共有が図られました。



取り組み事例の発表



製・販・工で活発に意見交換

組合が職能開発協会から感謝状

当組合は、優秀な技術者や職業能力開発の推進などに功績があったとして大阪府職業能力開発協会から感謝状を受けました。

12月4日、大阪市北区の大阪市中央公会堂で開催された令和6年度大阪府職業能力開発促進大会で、大阪府職業能力開発協会会長から「多年にわたって職業訓練の普及推進に顕著な功績があった」として当組合・庄司真之理事長に感謝状が手渡されました。

庄司理事長は「この感謝状は長年先人たちが積み上げてきた努力の賜物だと思う。認められて本当にうれしく思う」と話し、今後も職業訓練の推進に尽力していく決意を示しました。



感謝状を受ける庄司理事長



サロン

『(株)ツカサ』

ラジオ体操優良団体表彰

当組合員の(株)ツカサ（大阪市都島区、社長庄司宝氏）は、2024年度ラジオ体操優良団体等（府県等表彰）として表彰されました。

ラジオ体操優良団体等表彰（日本放送協会など主催）は、昭和31年から実施されているもので、毎年、ラジオ体操の普及奨励に寄与した功績の著しい団体または個人を対象に全国表彰、地方表彰、府県等表彰を行っています。

今回、同社は①表彰を受ける年の4月1日現在でラジオ体操を始めてから満2年以上継続しており、ラジオ体操の普及促進に寄与した功績が著しい②おおむね10名

以上参加者がある③年間ラジオ体操の実施日数が50日以上ある——などの推薦基準を満たし、同社では初めての受賞となりました。

表彰式では、賞状・記念品が贈呈され記念撮影が行われました。

同社の庄司真之会長は「今回こ

のような表彰をいただき大変喜ばしい。ラジオ体操を元気よく目立ってやれば現場でもアピールにつながると思い取り組んできた。今回の表彰が建設業界全体に浸透するきっかけになれば幸いです」と話しています。



表彰状を手にする庄司社長(中)と庄司会長(右)

理事会 議事要旨

【令和6年9月】

- ①日管連令和6年度(第19回)定時総会・理事会出席報告(7月19日)
- ②日管連令和6年度青年部会部会長交流会出席報告(7月5日・名古屋)
- ③大空衛主催の第41回4団体協議会出席報告(7月29日)
- ④大空衛主催の第14回配管技能コンテスト開催について(9月28日)
- ⑤第25回技術研修会開催日程と実施要領について(11月23日)
- ⑥令和7年度認定職業訓練配管科1級技能士コース実施計画作成について
- ⑦新規組合員加入諾否について
- ⑧事業計画の検討について
- ⑨その他

【令和6年10月】

- ①科1級技能士コース終了報告(9月8日)
- ②日管連令和6年度第13回全国青年部会(広島)の報告(10月18日)
- ③三団体懇談会(配管・ダクト・保温)の報告について(10月2日)
- ④令和6年度技能検定1級配管受験対策実技講習開催要領の作成について
- ⑤第15回組合員・賛助会員合同懇談会開催日程(12月5日)と

開催方法の検討

- ⑦新規組合員加入諾否について(継続)
- ⑧日管連・令和7年度定時総会時に決議する実践スローガンの素案作成検討について
- ⑨その他

【令和6年11月】

- ①日管連令和6年度第13回全国青年部会(広島)の報告(10月18日)
 - ②配管技能コンテスト結果(9月28日)
 - ③令和7年度認定職業訓練配管科1級技能士コース実施計画作成について
 - ④第15回組合員・賛助会員合同懇談会開催日程(12月5日)と開催要領作成について
 - ⑤令和7年新年賀詞交歓会開催要領作成について
 - ⑥その他▽新規加入希望(株)ウイングについて▽万博IDについて▽講習会事業(アーク溶接など)について▽日管連スローガンについて▽11月22日の三団体について
- ## 【令和6年12月】
- ①日管連理事会出席報告について(11月8日)
 - ②第55回三団体懇談会出席報告について(11月22日)
 - ③大空衛主催の第42回4団体協

- ④議会出席報告について(11月25日)
- ⑤第25回技術研修会終了報告(11月23日)
- ⑥第15回組合員・賛助会員合同懇談会・会費制忘年懇談会運営順序の打ち合わせについて
- ⑦新規組合員の組合加入諾否について
- ⑧その他

【令和7年1月】

- ①第15回組合員・賛助会員合同懇談会・会費制忘年懇親会終了報告
- ②令和6年度技能検定1級配管受験対策実技講習終了報告
- ③令和7年新年賀詞交歓会の運営順序の打ち合わせ
- ④新規組合員加入諾否について
- ⑤その他▽令和7年2月定例理事会休会について(青年部主催・助け合いネットについて)

【令和7年2月】

- ①日管連・令和7年度定時総会開催について(各地区からの概数回答状況)(前回平成28年7月8日太閤園懇親会参加者名簿)
- ②令和7年度の任期満了に伴う役員全員改選について
- ③(株)竹中工務店プロジェクト一覧表の取扱いについて
- ④その他

【新規会員(組合員)】

株式会社 新栄

代表者・新庄 崇氏

〒580-0014

松原市岡1-125

TEL.072-333-2000

FAX.072-333-2002

(令和6年8月1日付新加入)

株式会社 ウイング

代表者・上坂 歩氏

〒599-8248

堺市中区深井畑山町150-2

TEL.072-277-3000

FAX.072-277-3010

(令和6年12月1日付新加入)

株式会社 アイエス

代表者・稲積 功裕氏

〒573-1127

枚方市上島町2-20-202

TEL.072-836-0177

FAX.072-836-0177

(令和6年12月1日付新加入)

共新工業株式会社

代表者・板崎 博志氏

〒653-0033

神戸市長田区苅藻島町1-1-45

TEL.078-742-6495

FAX.078-742-6496

(令和7年1月14日付新加入)

株式会社 サンバイ

代表者・山田 耕介氏

〒607-8022

京都市山科区四ノ宮小金塚1-376

TEL.075-606-7531

FAX.075-606-1564

(令和7年1月14日付新入)

組合後援

大阪管工機材・設備総合展

出展者募集開始

大阪管工機材商業協同組合(理事長木澤利光氏)主催の「第22回管工機材・設備総合展OSAKA 2025」はこのほど、開催説明会を開いて出展者募集を開始、展示会成功に向け本格始動しました。

同展は大阪・南港のインテックス大阪6号館Aで9月11日~13日の3日間開催されます。総合展実

ク)と未来へ継(ツ)なげ「流体テクノロジー」を掲げ、当組合や大阪府、大阪市など19団体が後援します。出展小間数360小間を予定。開催時間は午前10時~午後5時(最終日は午後3時)。

当組合も出展し、幅広い層に配管工事業をアピールし、若者の入職を促します。ぜひ会場にお運びいただき、当組合ブースへのお立ち寄りをお待ちしてお



行委員会(委員長栗井寛儀副理事長)を組織し会合を重ねて開催要項などを決定。前回までの出展者らを中心に広く呼びかけて説明会を開催しました。出品の申込締め切りは5月20日(満小間になり次第締め切る)。

今回はメインテーマに「管工機材フェス開幕!!脈々(ミヤクミヤ

ります。

出展の問い合わせ・申し込みは同協組事務局(TEL06-6531-6385、FAX.06-6536-6525、E-mail:kan-kokizai-osk@pst-osaka.or.jp)まで。同協組HP(<http://www.pst-osaka.or.jp>)でも受け付けています。



全国会議開いて活動活性化模索



日本配管工事業団体連合会（日管連）傘下の各地区団体青年部会で組織する日管連全国青年部会（部会長藪下保之氏＝中国団体）の第13回全国青年部会が10月18日、広島県広島市のオリエンタルホテル広島で開催されました。今年是中国団体青年部会が開催担当幹事となり、北海道、東北、関東、中部、関西、九州の7団体青年部会からオブザーバーなどを含めて約80名が参集し、青年部会活動の活性化への方策を模索しました。

全体会議に先立ち、各地区の部会長による会議が行われ、今後のスケジュールや参加人数の打ち合わせなどを確認し、第一部の勉強会では安部友裕氏（HAKIpro社



挨拶する藪下部会長

長）を講師に「ことばが紡ぐ組織の未来」をテーマに講演会を開催。元プロ野球選手の安部氏は健康経営と組織コーチング、企業に通ずる言葉の重要性や組織の在り方などを講演し、参加者は熱心に耳を傾けていました。

記念撮影の後、懇親会を催しました。中国団体青年部会の坂本貴

之副部長の開会挨拶に続き、日管連青年部会の藪下部会長が「われわれ日管連青年部会と全管連青年部が一丸となって業界のイメージアップを目指すため、任天堂のスーパーマリオに着目してコラボが実現できるよう協議している。時間はかかるが、両団体が意見交換をしながら企画を練り、設備業

界の人手不足を解消できるよう取り組んでいきたい」と抱負を述べ、「会員として横の繋がりを大切にし、困ったときに相談できる関係を築き、明るい配管工事業の未来を皆さんと作っていききたい」と意欲を示しました。

来賓からは中国配管工事業協同組合の花登義樹理事長が期待を込めて祝辞を述べ、関東配管工事業協同組合の山田栄二顧問の発声で乾杯し和やかに交歓しました。懇親会半ばでは各地区の近況報告と出席者が紹介され、新たな議案提起なども出し合いながら親睦を深めました。



壇上で紹介される関西組合団体メンバー



結束を誓って乾杯

大空衛「配管技能コンテスト」

(株)ツカサの前田さん3位入賞

大阪空気調和衛生工業協会（会長北村広外志氏）主催の配管技能コンテストが昨年9月28日、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門学校（ものづくりカレッジ）で開催され、一般技能者、専門学校生・高校生合わせて40名が腕を競った。

コンテストは、次代の優秀な技能者の育成をめざし、同協会が組織する実行委員会が運営にあたり、参加学校の教諭らが審査委員・審査補佐委員としてバックアップ、当組合も準備や選手派遣などで参画し実施しているもので、今回で14回を数える。

コンテストには現場の第一線で活躍する技能者23名（一般の部）と建築設備関連の学科を履修中の大阪府下の高等学校や技術専門学校、滋賀県の高等学校の学生ら17



前列が一般の部上位入賞者（右から2番目が前田さん、左端が中村さん）

名（学生の部）が参加。一般の部では1級配管技能士検定レベル、学生の部では同3級レベルの課題作品制作に挑戦した。

当組合からの選手は(株)ツカサの前田大輝さんが一般の部で3位入賞、東和管工(株)の中村昭文さんが4位入賞を果たした。

各部門の上位入賞者は次の通り。（敬称略）

【学生の部】

▽優勝＝梅田千里（北大阪高等

職業技術専門学校）▽2位＝稲田春磨（布施工科高等学校）▽3位＝中村誠（布施工科高等学校）▽4位＝福山智恵利（大阪工業技術専門学校）▽5位＝寺前孔大（東住吉総合高等学校）。

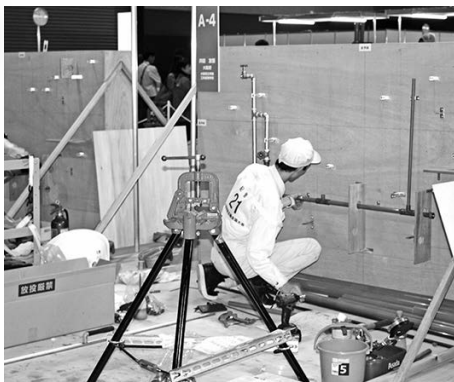
【一般の部】

▽優勝＝定行良太（藤井設備）▽2位＝加藤洋（大谷設備）▽3位＝前田大輝（(株)ツカサ）▽4位＝中村昭文（東和管工(株)）▽5位＝石浜康（藤岡工業）。

技能五輪全国大会開催

第62回技能五輪全国大会（主催＝厚生労働省、中央職業能力開発協会、愛知県）が11月22日から25日に愛知県国際展示場、愛知総合工科高等学校などを会場として開催され、自慢の技を競い合いました。

大会は、国内の青年技能者（原則23歳以下）を対象に、技能競技を通じ、青年技能者に努力目標を与えると同時に、技能に身近に触れる機会を提供するなど広く国民一般に技能の重要性及び必要性を



配管職種の競技



大阪選出選手（右）の激励に駆け付けた当組合・池成理事（配管職種の大阪府認定配管マイスター）

アピールし、技能尊重機運の醸成に資することを目的として昭和38年から毎年開催されています。

幅広い職種を対象とする唯一の全国レベルの技能競技大会で、令

和8年9月に中国・上海で開催される第48回技能五輪国際大会で、実施が見込まれる一部の競技職種に関わる選手の一次選考も行われました。

国交省

公共工事の新労務単価 — 13年連続の上昇 — — 配管工7%アップ —

国土交通省は、公共工事設計労務単価を全国全職種単純平均で前年度比6.0%引き上げた。3月から適用される。必要な法定福利費相当額を加算するなどの措置を行った2013年度の改訂から今回で13年連続引き上げられ、全国全職種加重平均値は2万4852円となり、最高値を更新した。「配管工」は全国平均で7.0%、「ダクト工」は6.7%それぞれ引き上げられた。

国交省は、建設業への人材確保に向けて待遇改善、社会保険加入促進を図るため、13年度（13年4月）に労務単価を大幅に引き上げたあと、今回を含め13回にわたり引き上げが実施された。今回の引き上げ幅は過去13年で14年（同7.1%上昇）に次ぐ2番目の引き上げ幅となった。

公共工事設計労務単価は公共工事などに従事する建設労働者の基準賃金。国交省、農林水産省が所管する公共工事に従事した労働者に対する賃金支払い実態調査に基づき設定するもので、公共工事の工事積算に適用される。ただ、下請契約での労務単価や雇用契約での労働者への支払い賃金を拘束するものではない。今回の新労務単価は昨年秋の調査結果に基づき設定された。

「配管工」の全国平均労務単価は、97年度の1万9655円をピー

クに下落を続け、12年度はピークの76%の水準にまで下落、過去10年間で最低となっていた。

その後、13年度で一挙に前年度比13%増へ、さらに14年2月5.7%、15年2月1.1%、16年2月1.3%、17年3月4.1%、18年3月2.4%、19年3月4.2%、20年3月2.5%、21年3月1.0%、22年3月3.1%、23年3月5.1%、24年3月5.7%それぞれ上げられた。今回は7.0%の引き上げにより、2万5538円となった。

「配管工」労務単価をブロック別に平均で見ると、北海道・東北の7道県は2万6200円、関東9都県は2万7211円、北陸3県は2万6300円、中部4県は2万5925円、近畿7府県（福井含む）は2万6271円、中国5県は2万3800円、四国4県は2万4250円、九州8県は2万3687円と、中国、四国、九州は全国平均を下回っている。

空調配管工事の「ダクト工」の全国平均は昨年3月比6.7%上昇の2万5485円。「ダクト工」の単価は関東、中部、近畿が相対的に高く、九州、四国、中国が低い。

配管保温保冷工事の「保温工」の全国平均は2万7107円で、同6.4%上昇した。「保温工」の単価は関東、中部、近畿で高く、中国、九州で低い。

今年のマンション発売

— 近畿圏横ばい予想 —

不動産経済研究所は、2025年のマンション供給について近畿圏2

府4県は前年に続いて横ばいを見通した。

近畿圏の24年マンション供給は前年比0.7%増の1万5500戸にとどまる見込みで、当初予測の1万6500戸より下振れとなる。

25年は前年とほぼ同水準の1万5500戸を見通している。価格高騰により中心部が減少の一方、郊外型ファミリーが増加するとみている。大阪市部5000戸、大阪府下4300戸、神戸市部1800戸、兵庫県下1700戸、京都市部1500戸の予想。

主要エリアでは大阪市部、神戸市部、京都市部が減少、郊外エリアが増加するとし、超高層・投資物件も含め郊外シフトの動きが活発化するという。

また、24年に引き続き、売れ行きが好調な超高層物件は販売途中での価格アップ・販売戸数調整で長期化するとみている。1Kなど投資物件は売れ行き好調ながら、都心での用地仕入れ困難化により郊外シフトが続くという。さらに、大規模物件が多数予定されている大阪府下、兵庫県下、京都府下は増加の見通し。

まだまだ少数

— 建設業女性技能者 —

国土交通省が昨秋実施した建設業における女性の入職・定着状況などのアンケート調査で女性技能者は技能者全体の2%にとどまっていることが分かった。

調査は、昨年9月下旬から10月

上旬に行われ、1609社（資本金1000万円～3000万円以下約40%で最多、1000万円以下約20%）から有効回答を得て分析した。

それによると、事務系女性数は従業員総数（26万8234人）の38%を占めるが、女性技術者（設計者含む）は技術者総数（16万918

人）の10%（1万893人）、女性技能者は技能者総数（1万4834人）の2%（363人）だった。

また、女性技能者が携わる職種（複数回答）では普通作業員113人、径作業員45人、運転手（一般）28人、鉄筋工15人と続き、配管工はわずか4人。

一方、女性活躍・定着促進のために実施している取り組み状況や課題認識については、何らかの取り組みをしていると回答した企業は約半数。取り組みなしの企業のうち従業員100人未満の企業が90%以上を占めている。

事業主の皆さん、 労働保険に入っていますか？

労働者を1人でも雇っている事業主は労働保険に加入する義務があります。労働保険とは「労災保険」と「雇用保険」を総称したも

ので、労働者を1人でも雇用されている事業主の方は、労働保険に必ず加入しなければなりません。

お問い合わせ先

◇労災保険制度については

労働基準監督署へ

◇雇用保険制度については

ハローワーク（公共職業安定所）へ

【労働保険事務委託団体・労働保険事務組合】

関西配管工事業協同組合

【労災保険・特別加入団体】

関西配管工事業協同組合・一人親方組合

安心



活気



やる気



働くみんなに 退職金効果！

中退共は、国がサポートする中小企業のための退職金制度です。

安心

国の退職金制度

掛金の一部を
国が助成します。

有利

掛金は全額非課税

手数料もかかりません。

簡単

外部積立型だから

管理もラクラク
転職先でも引き継げる
「通算制度」があります。

●パートタイマーさんや家族従業員もご加入いただけます。 ●他の退職金・企業年金制度等との資産移換も可能です。

詳しくはホームページをご覧ください

中退共

検索



独立行政法人勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋 1-24-1
TEL (03) 6907-1234 FAX (03) 5955-8211